

4 歳児／5 歳児クラス <7 月 ムンク「叫び」>

<テーマを決める>



やさしいK-ART

テーマ《ムンク「叫び」ワーク》

ムンクが感じた激しいオレンジ色の空を
キットパスで表現しましょう！

「怒ったとき、うれしいとき、悲しいとき、びっくりしたとき、みんなの顔は変わるよね。先生やお友だちの顔を見て、『うれしそう！』『なんだか困っているのかな？』って思うこともあるよね。

ムンクが描いた《叫び》も、大きな口を開けた人がいて題名も「叫び」だから、人が『叫んでいる絵』だと思われることが多いけれど、実は自然の中で感じた驚きや不安な気持ちを表した作品だと言われているんだ。

『この人はどんな気持ちだったんだろう？』

『ぼくだったら、どんな顔になるかな？』

表情や色、線から気持ちを想像しながら、作品づくりに取り組んでみよう。」

<問いを考える>

- ・ この人はどんな気持ちに見える？ ・ どうしてそう思ったの？
- ・ 顔のどこを見てそう思った？ ・ 自分がびっくりしたときはどんな顔？
- ・ もしうれしかったら、この絵はどんな色になるかな？

<環境をデザインする>

子どもたちが作品の「気持ち」を表情や色、線から感じ取れるように、ムンク《叫び》の空・橋・顔のパーツを分けて準備した。空の背景は黒画用紙を用いることで、キットパスの鮮やかな色が際立ち、ムンクが描いた夕焼けの迫力や不安な雰囲気表現しやすくした。

顔や橋のパーツを貼り合わせる構成にすることで、細かな描画に時間を取られず、「どんな気持ちに見えるだろう」

「どんな色や線にすると気持ちが伝わるだろう」という対話や表現に集中できる環境を整えたい。

1. フレーム
2. 空パーツ
3. 橋パーツ（貼ります）
4. 顔パーツ（貼ります）
5. 見本（各テーブル1枚程度）
6. 黒画用紙1枚
7. キットパス
8. ベビーパウダー
9. スティック糊
10. 鉛筆



4 歳児クラスクラス <7月 ムンク「叫び」>実施報告



7/17 年中：2名《ムンク「叫び」》

今回は、ムンクの『叫び』の見本を見ながら制作を行いました。作品を見ると、言葉が出ず沈黙…。

空の方を指差し「これってなんだろう？」の問いに「夕焼け！」と反応してくれました。「この絵はムンクが驚いたり、不安だなという気持ちで描いたかもしれない」と話をすると作品に興味を持って耳を傾ける姿が見られました。また、「同じ景色を見ても、人によって見え方や感じ方はそれぞれ違うんだよ」ということも伝え、一つの作品にもさまざまな捉え方があることに触れました。

制作では、説明をしっかりと聞き顔から描いていき、「ちゃんと描けた〜！」と満足気。空と海を分ける線も丁寧に引けて、色を塗っていく時には見本を観察して「やまぶき色かな？」「白い色がある！」など感じた色を選んで塗り、指でキットパスを伸ばしながら空や海を表現していきました。スティック糊で貼る作業も自分で行い、先生にフレームに入れてもらった後、自分の名前を自分で書いて完成。とってもニコニコで写真も撮れました。

5歳児クラス <7月 ムンク「叫び」>実施報告



7/17 年長：4名《ムンク「叫び」》

今回は、ムンクの『叫び』の見本を見ながら制作を行いました。作品を見ると、「怖い！」「怖くない？」という反応が。

空の方を指差し「これってなんだろう？」の問いに「空だね～」としっかり反応してくれました。

「この絵はムンクが驚いたり、不安だなという気持ちで描いたかもしれない」と話をすると作品に興味を持って耳を傾ける姿が見られました。また、「同じ景色を見ても、人によって見え方や感じ方はそれぞれ違うんだよ」ということも伝え、一つの作品にもさまざまな捉え方があることに触れました。

制作では、顔から丁寧に描いていきました。

空と海を分ける線もそれぞれが感じ取った線を丁寧に引け、色を塗っていく時には「緑色もあるよね？」「重ねてみよう！」「指で伸ばしてみよう！」など感じた色を選んで塗り、指でキットパスを伸ばしながら空や海を表現していきました。スティック糊で貼る作業も自分で行い、先生にフレームに入れてもらった後、自分の名前を自分で書いて完成しました。

